

トピックス

■国吉康雄寄付講座開講記念シンポジウムを開催

本学は10月1日、教育学研究科に寄付講座「国吉康雄を中心とした美術鑑賞教育研究講座」を公益財団法人福武教育文化振興財団、公益財団法人福武財団からの寄付により開設。同日、「岡山大学国吉康雄寄付講座開設記念シンポジウム」を本学鹿田キャンパスのJunko Fukutake Hallで開催しました。

シンポジウムでは、森田潔学長があいさつ。教育学研究科の高塚成信研究科長と山口健二教授（寄付講座兼務教員）が「国吉康雄寄付講座について～概要と可能性」と題して説明しました。また本学を含む岡山市内各所で展開された国吉祭でディレクターを務めた同研究科の才士真司准教授（寄付講座専任教員）が「スミソニアンから岡山へ～国吉康雄を知り活かすこと」をテーマに報告しました。



パネルディスカッション「岡山から発信する国吉」も開かれ、才士准教授や江原久美子准教授（寄付講座専任教員）、赤木里香子准教授（寄付講座兼務教員）をはじめ、松田久岡山経済同友会代表幹事、谷一尚林原美術館長、大河原喬スミソニアン国吉康雄回顧展夏季視察団団長が議論を繰り広げました。岡山を豊かにするための国吉作品の活用策や展開方法、同寄付講座の今後の展望などについて討論が行われ、訪れた約200人の参加者らは熱心に聞き入っていました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4998.html

最近の大学の取組

■岡山大学スーパーグローバルデー2015を開催

本学は10月18日、グローバル化・国際交流の推進を目的とした新たな試みとして「岡山大学スーパーグローバルデー2015」を開催しました。国際同窓会の海外支部同窓生など国内外から集まった400人を超える来場者が交流を深めました。

当日は3部構成で行われ、創立五十周年記念館では国際同窓会総会（第1部）と記念講演会（第2部）、国際同窓会支部や在学生によるポスター発表を実施しました。記念講演会では村上憲郎氏（エナリス社長、元Google米国本社副社長）と福武總一郎氏（ベネッセホールディングス最高顧問）がそれぞれ講演。トップマネジメント2人を招いての講演に在学生や一般市民らが多数来場し、積極的な質疑応答が行われました。

岡山市内で開かれた懇親会（第3部）には、同窓生や大学関係者のほか多くの来賓が出席。留学生などによるパフォーマンスが披露され、各国の出席者が和やかに懇談しました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5088.html



■学振「頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム」に採択

独立行政法人日本学術振興会の「平成 27 年度頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワークプログラム」に 10 月 2 日、自然科学研究科（理）の横谷尚睦教授が研究代表を務める「世界最高性能の超伝導材料の実現を目指す国際研究ネットワーク形成」が採択されました。ローマ大学物理学科やジュネーブ大学量子物質物理学科、フランス原子力・代替エネルギー庁(CEA)／ナノ科学、低温研究所(INAC)、エコール・サントアル・パリなどの世界最高水準の研究力を有する機関と密に連携。2.5 年の事業期間で新規や高品質超伝導材料の先端光電子分光、エレクトロニクスによる超伝導物性制御などの研究開発を若手研究者の交流を通じて実施する予定です。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5058.html

■ホームカミングデイ 2015 を開催

本学は 10 月 17 日、同窓生や地域の人を招き、在学生や教職員、大学に親しんでもらうイベント「ホームカミングデイ 2015」を開催しました。秋晴れの空のもと、訪れた約 3,600 人の来場者が互いに交流を深めました。 参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5067.html

最近注目の研究

■がん免疫療法 血液 1 滴で効果を測定

自然科学研究科（工）生命医用工学専攻の二見淳一郎准教授らの共同研究グループは、がん患者の体内で誘導されるがん細胞に対する免疫応答のレベルを、ごく微量の血液から定量評価する新技術を開発しました。本研究成果は「Bioconjugate Chemistry」電子版で公開されました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id347.html

■コムギの温暖地適応遺伝子を発見

環境生命科学研究科（農）植物遺伝育種学分野の加藤謙司教授、カリフォルニア大学デービス校の Jorge Dubcovsky 教授らの共同研究グループは、コムギの春化要求性に関わる春播性遺伝子 Vrn-D4 の特定に世界で初めて成功。本遺伝子がコムギの温暖地適応に重要な役割を果たしたことを明らかにしました。本研究成果は「米科学アカデミー紀要」に掲載されました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id344.html

■B 型肝炎ウイルス感染に対抗する新たな宿主遺伝子の機能を解明

医歯薬学総合研究科（医）腫瘍ウイルス学分野の團迫浩方助教、加藤宣之教授らの研究グループは、B 型肝炎ウイルス（HBV）の感染を認識する宿主因子 cyclic GMP-AMP synthetase（cGAS）を新たに同定。cGAS が HBV 感染粒子の形成を阻害する新たな分子機構を明らかにしました。本研究成果は、欧州の生化学関連の総合誌「FEBS Journal」に掲載されました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id342.html

行事予定

・ Junko Fukutake Hall 「第 56 回 BCS 賞」受賞・開設 2 周年記念シンポジウム

11 月 10 日（火） 岡山大学 Junko Fukutake Hall

・ 宵のサロン 2 周年・第 12 回 11 月 11 日（水） 岡山大学 Junko Fukutake Hall

-
- ・ 岡山大学公式ホームページ <http://www.okayama-u.ac.jp/>
 - ・ 岡山大学 Facebook ページ <https://www.facebook.com/OkayamaUniversity>
 - ・ 岡山大学 Twitter https://twitter.com/okayama_uni
 - ・ 岡山大学チャンネル <https://www.youtube.com/user/okayamaunivpr/videos>

【お問合せ先】 岡山大学広報・情報戦略室

Tel : 086-251-7292, 7293 Mail : www-adm@adm.okayama-u.ac.jp